

依頼談話における「そうですね」の使用実態 —日本語母語話者と中国語母語の日本語学習者の比較

筑波大学研究生 劉薇

研究背景

はじめに

「そうですね」という言語形式は、日本語母語話者（以下、「母語話者」）が日常生活で頻繁に使用するのが観察される一方で、学習者にはネガティブ・ポライトネスの用法における使用例が見られないことが指摘されている（齊木2008）。それを検証するため、フェイス侵害の場面が多く出現すると考えられる依頼談話における母語話者と中国語母語の日本語学習者（以下、「学習者」）の使用の相違点を考察する。

先行研究

- ◆ 吉村（2000）は、機能の観点から、〈質問-応答〉ペアにおけるショック・アプソーバーの機能を指摘。
- ◆ 齊木（2008）は、用法の観点から、1)「応答用法」：相手の発話命題が正しいと表明する 2)「フィラー用法」：それ自体全く意味を持たないの2つの用法を指摘。
- ◆ 小出（2011）は、機能の観点から、1)「対人的機能」：先行発話で示された判断についての許容 2)「談話的機能」：先行発話で示された話題の許容と捉え直しの2つの機能を指摘。

問題提起

「そうですね」の対人的機能について、同じ文脈における母語話者と学習者の用法の比較はまだ十分に検討されていない。

研究データと研究方法

◆ 研究データ

多言語母語の日本語学習者横断コーパス（I-JAS, International Corpus of Japanese as a second language）ロールプレイ1の依頼談話

- 内容：日本料理店でアルバイトをしている学生が、忙しくなったので、週三日の勤務を週二日に変更したいと日本語母語話者である店長に依頼する談話である。
- データの数：日本語母語話者50人、中国語母語の日本語学習者100人

◆ 研究方法

- 分析単位の認定：発話文
- 話段の区切り：「A依頼の予備部分」、「B依頼の主要部分」、「C依頼の交渉部分」、「D依頼の達成部分」
- 談話ストラテジーの認定：「依頼の申し出」、「断りへの応答」、「要求された情報の提供」等
- 「そうですね」の用法を確認し、母語話者と学習者が同一文脈で使用の際の違いを調査・考察する。

分析の結果

【表1】「そうですね」の使用率の母語話者と学習者の比較

	発話文の総数	「そうですね」の使用率
日本語母語話者	641(100)	92(14.35%)
中国語母語の日本語学習者	312(100)	7(2.24%)

結果：学習者の使用率は母語話者よりはるかに低い

【表2】「そうですね」の使用文脈

文脈	母語話者	日本語学習者
依頼の申し出	○	×
断りへの応答	○	×
要求された情報の提供	○	○
提案への応答	○	×

【表3】「そうですね」の用法による使用件数

用法	母語話者	日本語学習者
応答用法	24	4
フィラー用法（ポジティブ・ポライトネス）	9	なし
フィラー用法（ネガティブ・ポライトネス）	13	なし
フィラー用法（中立的）	46	2
対象外	なし	1

結果の考察

「断りへの応答」

【表4】「断りへの応答」における談話ストラテジー

談話ストラテジー	母語話者	学習者
再依頼	○	○
解決案の提供	○	最多
依頼理由の追加	○	最多
注目表示	○	○
関係作り	○	○
協力意志の表明	○	○

母語話者：依頼を断る店長の意見や考えに同意・共感を示し、相手との距離を縮めようとするポジティブ・ポライトネスの用法を使用

「提案への応答」

【表5】「提案への応答」における談話ストラテジー

発話	母語話者	学習者
拒否発話の割合	90%	50%
拒否発話の文頭言語形式	「そうですね」多用	「んー」「あ」「えーとね」等 フィラーの使用

母語話者：文頭の使用が特徴的で、形式的に相手の言葉を受け入れることで、その後に来る断りの発話を和らげるネガティブ・ポライトネスの用法

- ◆ 依頼を達成するため異なる談話ストラテジーを用いており、その結果「そうですね」の使用率の差が生じている。

日本国内の学習者

【表6】日本国内の中国語母語の学習者の使用

人数	ネガティブ・ポライトネス	ポジティブ・ポライトネス
35	2	7

- ◆ 今回の調査対象は日本居住歴がなく、話し言葉でのみ使われる「そうですね」のポライトネスの用法に触れる機会が少ないと考えられる。

まとめ

同一文脈において、日本語母語話者は「そうですね」のネガティブ・ポジティブポライトネスを使用した。中国語母語の日本語学習者には見られなかった。これは先行研究のネガティブ・ポライトネスに関する指摘を裏付けるものであり、また学習者がポジティブ・ポライトネスも使用していないことが明らかになった。さらに、日本国内の学習者との比較を通じて、学習環境が「そうですね」のポライトネスの使い方の習得において重要であることを示唆した。

参考文献

- 小出慶一（2011）「応答詞『そうですね』の機能について」『埼玉大学紀要 教養学部』第47巻第1号 pp. 85-97. 埼玉大学 教養学部
- 齊木美紀（2008）「談話分析から見る『そうですね』」『横浜国大語学研究』第26号 pp. 60-45. 横浜国立大学国語・日本語教育学会
- 迫田久美子（2020）「I-JAS誕生の経緯」迫田久美子・石川慎一郎・李在鎭（編著）『日本語学習者コーパスI-JAS入門：研究・教育にどう使うか』（pp. 2-13）くろしお出版
- 吉村浩一（2000）「『そうですね』の会話分析の枠組み—心理学的とエスノメソドロジーからの検討—」『社会環境研究』第5号pp. 51-10. 金沢大学大学院社会環境科学研究所